

## 関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2024～2025 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「奉仕の実践を通じ、求められ、

必要とされるロータリアンに」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長 大藪 太 副会長 土屋 敏幸 幹事 後藤 政之

会報 北原 慎

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

前例会の記録 第 2152 回

2024年 9月 12日 (木)

場所 例会場 (関観光ホテル)

担当 ニコボックス委員会

本日のプログラム 第2153回例会 2024年 9月 19日 (木)

卓話 関市長 山下 清司 様

テーマ 市長就任一年を振り返って～「しあわせなまち」を未来へつなぐ～

担当 会員基盤増強維持委員会

\*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

\*会長あいさつ 大藪 太 会長

皆さんこんばんは、本日のお客様をご紹介させていただきます。ミッドランド税理士法人 ぎふ永田会計 所長 永田 文康 様、後ほど卓話をお願い



致します。前回の通常の例会から1ヶ月以上経ちましたが、その間に色々なことがありました。8月13日、昨年は開会直前の豪雨により急遽中止になった関市民花火大会が行われました。昨年出来なかったこともあるでしょうが、9000発打ち上げられた花火に大勢の観客が詰

めかけ、大いに盛り上がりました。そして翌日14日の早朝、ボランティアによる清掃活動が行われ、関中央ロータリークラブからも7人が参加しました。参加された会員の皆さん、お疲れ様でした。9月1日(日)には若草プラザにおいて関市児童生徒科学作品展の表彰式があり、プレゼンターとして出席しました。会場には小中学生の様々な作品が展示されておりましたが、その中には森会員のお孫さんの作品もあり、細かい観察記録が分厚いファイルにまとめられた力作でした。そして9月3日には2630地区ガバナー公式訪問がありました。11時から関中央、関、美濃の3クラブとガバナーの懇談会があり、

クラブ報告の後、意見交換会へと移っていきましたが、共通の話題としてはやはり会員増強です。ガバナーからは会員増強に関する様々なご意見をいただきましたが、年会費の話になり、ガバナーから3クラブの会費の安さを指摘されました。年会費22万円前後というのは2630地区でも安い方になるそうです。大都市の会員数100人を超えるような大きなクラブほど会費が高く、30万円はあたりまえのようです。ガバナーの意見としては、クラブの予算が潤沢になるほど大きな事業が出来るようになり、社会にロータリーの存在をアピールでき、新入会員の勧誘にも有利に働くはずであり、何かに付け値上がりしている時代だから、会費も増額を検討してくださいと言われました。しかし、私としてはこの意見には賛成しかねるところがあり、新会員の勧誘で一番のネックになるところが、年会費の説明であると思いますので、会費について単純に強気にはなれないと思います。また女性会員の入会についても話をされ、国際ロータリーは1987年まで女性の入会を認めていませんでした。そんな中でRIの規則に反し女性会員を入会させたアメリカのクラブが、RIとの裁判で勝利を勝ち取り、それを受けて規則が改正され1989年から女性会員の入会が認められるようになりました。女性会員の入会は会員増強の有効な手段のひとつですが、ガバナーが言われるには、クラブのありようにも様々な形態があっても良いのではないかということです。RIが提唱するDEI(多様性、公平さ、包括性)を受容し、行動で示すべきという指針を実践しているLGBTだけの会員からなるクラブもあるほどです。例えばひとつの企業の中にロータリークラブを作っても良いし、ある地域だけを対象としたクラブがあっても良い。つまり既存のプロセスによらずに設立されるクラブが出来てくるだろうと言われました。またクラブの中のクラブであり、独自の組織やプロジェクト、プログラムを持つ衛生クラブや、既に岐阜県で設立されましたが8人の会員から設立でき、オンラインで例会を開くEクラブなどもあるように、クラブのありようも時代と共に変化していくのだらうと思いました。また9月8日(日)若草プラザにおいて、関市発明展の表彰式があり、こちらもプレゼンターとして出席して来ました。小中学生や一般の人、企業による出展もあり、どれも力作ぞろいで感心する作品が多くありました。冒頭の挨拶で市長を

始め来賓の方が言われましたが、関市は刃物を中心とする物づくりの町であり、子供達が工夫を凝らした作品を考えることは大変意義のあることだと思います。とかくテレビゲームやスマホに走りがちになりますが、自分たちの手を動かして物を作り上げることの大切さを改めて考える良い機会になりました。

#### \* 卓 話

ミッドランド税理士法人

ぎふ永田会計 所長

税理士 永田 文康 様

テーマ「遺言書への関心は高い」



「トラブルを避けるために遺言書を作成しておくとうまいでしょう。」最近、遺言書に関する相談・質問が多くなります。税制改正で相続税の基礎控除が下げられました。これにより相続税の課税対象者が増加され、遺言への関心は高まっています。

相続税の基礎控除額

・3000万円+(600万円×法定相続人の数)

相続税対策より、まず第一に考えたいのは「相続」が「争族」にならないことです。遺産を巡る親族間での争いは少なくありません。家族を守り、争いを避けるためには遺言が一番いいと思われま

す。「遺言書なんかなくても、家族は仲がいいのだから大丈夫。」遺言書の話をする

と、必ずと言って良いほど聞くセリフです。大丈夫と思っている人は意外なほど多いです。自分の家族は欲がないから問題は生じないと考えているようですが、これはあまりにも楽観的過ぎなのではないでしょうか。

「遺言書はお金持ちで、家族仲が悪い人のためのもの。」というイメージは、昔のものです。

遺言書作成のメリットは

- ・仲のいい家族が、遺産をめぐるお互い気を遣ったり、いやな思いをしなくてすむ
  - ・相続手続きがスムーズになり、仕事や育児で忙しい家族の時間やお金を節約できる
  - ・高齢の配偶者や気がかりの子供に、マイホームなど特定の財産を確実に残せる
  - ・お世話になった人にお礼をしたり、葬式やお墓について希望を伝えられる
- などがあると、一般的に知られるようになってきました。

つまり、遺言書があれば、家族の精神的・経済的な負担を減らし、生活を守れるとともに、日頃の気がかりを解決できるのです。

「将来私に何かあっても、まわりに迷惑をかけたくない。」もし、そう思っているのであれば、ぜひ、今のうちに遺言書をつくることをおすすめします。

#### \*出席委員会

会員数 30 名、本日の出席17名です。

#### \*ニコボックス委員会

・会長、副会長、幹事

永田様、本日の卓話のタイトル、大変興味深いもので楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいいたします。

・古田 育則 会員

永田先生、今日のご無理を申し上げました。よろしくお願ひします。

17 名のご投函ありがとうございました。

#### \*その他委員会報告

・第 47 回インターアクト年次大会の報告

石原 妙生 インターアクト委員長

8月6日、岐阜市の長良川国際会議場にて行われ大藪会長と出席をし、当日は関商工高校 生徒8名・先生1名、武義高校 生徒 7 名・先生 1 名でバスで出かけました。今回のホスト高校は岐阜工業高校、スポンサークラブは岐阜東南ロータリークラブです。メインテーマ「受け継ぐ伝統 つなげる絆 広がる岐阜の魅力」を基に岐阜工業高校のクラブ代表による点鐘・開会宣言で開会式が始まり、来賓では岐阜市長、笠松町長、亀井ガバナー、韓国3600地区代表等の挨拶がありました。分科会では生徒を A・B グループに分け、またその中を5つのグループに細分化して体験学習を行った。内容は、ぼんぼん作り・紙手紙作り(絵をウチワに張付ける)・タイルアート等5種類の中で生徒が希望するものを選択して行った。各会場を回りましたが、作業をしているせいなのか他の学校の生徒との交流についてはあまり行われてない様にも見受けられました。参加者については、33校の生徒、ロータリアン、韓国3600地区から高校生17名、役員4名の延べ500名以上の出席でした。閉会セレモニーでは交換留学生のスピーチや次期ホスト校の発表が有り、次期ホスト校は宇治山田高校、スポンサークラブは伊勢ロータリークラブとなります。

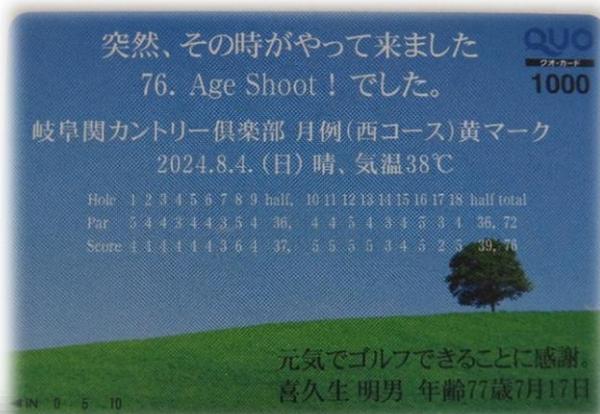
今回の様な年次大会での体験を学校に戻り、何らかの形で発表してもらいインターアクト対象外の生徒にもインターアクトの活動を知ってもらえる様、学校に働きかけると良いと思います。以上報告とします。

#### \*幹事報告

・9月のロータリーレートは、1ドル 145 円です。

・本日例会終了後、理事・役員会、第 1 回指名委員会を行います。

・先月8月4日に、喜久生先生がエージシュートを達され、会員の皆さんに記念品をいただきました。



<次例会の案内>  
第2154回 9月 26日 (木)  
担当 米山記念奨学委員会  
卓話 米山記念奨学生(ベトナム)  
ドナン フン 様  
場所： 関観光ホテル